

ILL データ分析からみた 医学文献情報流通における私大医学図書館の役割

園原麻里 酒井由紀子
慶應義塾大学信濃町メディアセンター

慶應義塾大学信濃町メディアセンター(別名:北里記念医学図書館。以下、当館)は、義塾の5つあるキャンパスのひとつ、信濃町キャンパス(所在地:東京都新宿区)にある、医学、看護学および関連領域の専門図書館である。ヘルスサイエンス分野に特化した資料を豊富に備え、図書および製本雑誌約36万冊、カレントタイトル数2,944誌(2004年3月現在)を所蔵し、電子ジャーナルタイトルは約20,000誌、ライフサイエンス分野に限定すると約4,800誌(2005年4月現在)がアクセス可能で、各種データベースや電子ブック、文献管理ツールなども提供している。

本研究では、当館で年間約3万件(参考:受付28,120、依頼:1,741(2004年度))発生する塾外との相互貸借データを時系列分析し、現状を把握するとともに、学術雑誌の電子化など予想される変化要因の影響をはかり、当館の役割を検討する。

相互貸借件数の経年変化と要因の概要は以下のとおりである。「受付」は、1998年度に雑誌価格高騰のため大幅に購読中止した年度などいくつかの落ち込みはあるが、全体としては増加傾向にあり、11年間で1.4倍となっている。一方「依頼」は毎年漸減しており、11年間で半減に達している(図1)。「受付」件数が増加傾向にある理由には、NACSIS-ILLの普及や、2004年度から実施された料金相殺制度が貢献していると思われる。今後さらに依頼元の種別割合を分析することで、受付件数の増加要因を分析していく予定である。「依頼」件数減少の要因には、主に電子ジャーナル契約による蔵書数の増加と関連が予測される(図2)。

上記をはじめとした分析を通して、医学文献情報流通における当館の役割を検討したい。

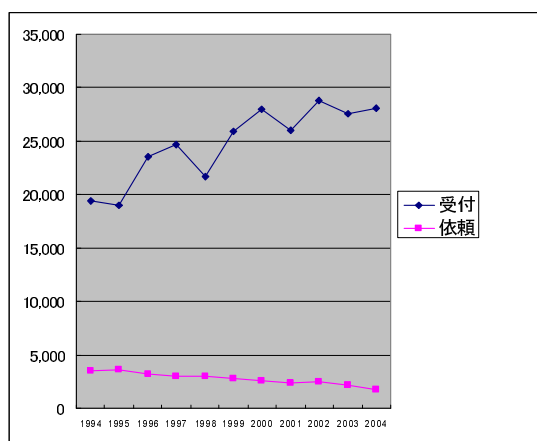


図1. 複写受付件数の推移

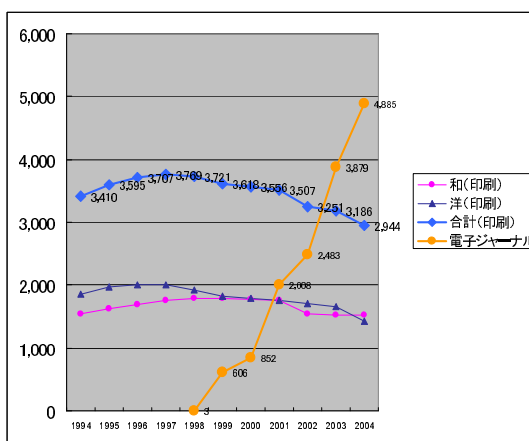


図2. 雑誌カレント誌数の推移

※本研究は平成16-18年度科学研究費補助金「電子情報環境下における大学図書館機能の再検討」の助成を受けている。